

卒論、修論のタイトル打ち合わせ

1 卒論、修論のタイトルの要素

1.1 何をやるか (What)

ニュース番組音声において、発話から抽出される i-vector を用いてアンカーの発話区間を検出し、音声認識を行う。

1.2 どのようにやるか（キーアイディアは何か）(How)

短い発話からは i-vector を十分に抽出できない

→アンカーの発話区間の検出、音声認識において、誤識別・誤認識につながる。

以下の手法によって擬似的に長い発話を作成し、短い発話の i-vector 抽出精度の向上を目指す

- 発話区間と発話区間の間 (非発話区間) の時間情報を考慮した発話区間の結合
- 発話環境を考慮した発話区間の結合

1.3 結論は何？ (Answer)

アンカーの発話区間の音声認識精度向上

2 タイトル案

2.1 最良と思うタイトル

ニュース番組におけるアンカーの音声認識精度向上のための発話の時間情報と発話環境を考慮した話者特徴量抽出

2.2 タイトルには入れなかったけど重要なキーワード

アンカーの発話区間検出、発話区間の結合、短い発話

2.3 中間発表のタイトル

深層学習を用いた会議音声認識における同一話者情報の利用

2.4 経過メモ

アンカー→主要話者音声認識向上は不要、当然のことは言う意味がない

ニュース番組における～を考慮した主要話者の音声認識ニュース番組における～を用いた主要話

者の音声認識

話者特徴量

短い発話

非発話区間の長さ

長々タイトル・ニュース番組における音源識別によって得られた音源情報を考慮して抽出した話者特徴量を用いた主要話者の音声認識

候補ニュース番組の発話区間情報を考慮して抽出した話者特徴量を用いた主要話者の音声認識

発話区間情報：長さ、発話環境、次の発話区間までの時間